

八学大女子自転車競技実業団チーム 決意新たに本格始動

八戸学院大が女子自転車競技部の強化に向けて創設した実業団チームのお披露目が5日、八戸市のフラワ―エイトビルで行われた。今月から実業団向けの大会にも出場可能となる。専用ユニホームに身を包んだ選

手たちは「大会出場機会が増えるので、経験を積める」と新たな環境下での本格始動を喜んだ。

2020年の東京五輪や25年の青森国体に向けた選手強化と、大学卒業後の社会人選手らの練習環境を支援するのが狙い。チームには同部に所属する4人のほか、社会人1人が加わる。同部の清水知美部長「八

学大4年」は取材に「競技人口が少ないので、学生選手以外と戦える機会が増えるのはいい経験になる」と意気込み。監督を務める大谷真樹学長は「地域の温かい応援を得ながら、将来はナショナルチームに所属する選手を輩出したい。インカレ総合優勝も目指す」と抱負を述べた。

(金濱千優希)



実業団チームの創設をアピールする八学大女子自転車競技部のメンバー。左は大谷真樹監督
「5日、八戸市内